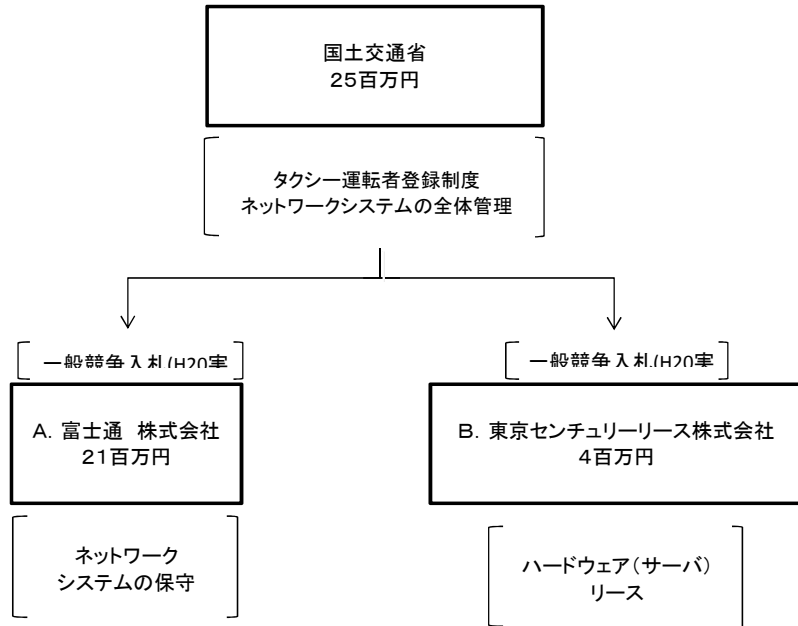


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	タクシー運転者登録制度 ネットワークシステムの運用		担当部局庁	自動車局		作成責任者		
事業開始・ 終了(予定)年度	平成19年～		担当課室	旅客課		課長 鈴木 昭久		
会計区分	一般会計		施策名	14 公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、 ハイジャック・航空機テロ防止を推進する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	タクシー業務適正化特別措置法第3条		関係する計画、 通知等	交通政策審議会答申「タクシー事業を巡る諸問題への対策について」(平成20年12月18日)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	全国の政令指定都市を中心に、流し営業が主となっているタクシー営業区域(タクシー業務適正化特別措置法に規定する「指定地域」)におけるタクシー運転者の登録を実施することにより、運転者の資質を確保し、タクシー輸送の安全及び利用者利便の増進を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	タクシー業務適正化特別措置法に規定する指定地域については、当該地域内の営業所に配置するタクシーには、当該指定地域に係るタクシー運転者登録原簿に登録を受けている者以外の者を運転者として乗務させてはならないことが明確に規定されている。「タクシー運転者登録制度ネットワークシステム」は、全国13ヶ所の指定地域における運転者登録(法人・個人)業務を中心に、運転者証の交付、記載内容の訂正、運転者業務経歴証明書の交付や運転者ごとの違反情報等について一元管理を行っている。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状況	当初予算	26	26	25	25	45	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	26	26	25	25	45	
	執行額	26	26	25	-	-		
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	-	-			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	指定地域におけるタクシー運転者の登録制度の実施により、輸送の安全、利用者利便の確保を図る。		成果実績	件	327,481	300,526	270,771	243,000
			達成度	%	100	100	100	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	全国13指定地域で行われるタクシー運転者の登録について発生する各種業務の迅速な処理。(H24年度処理件数見込:243,000件)		活動実績 (当初見込み)	件	327,481	300,526 (300,000)	270,771 (276,000)	- (243,000)
			算出根拠	(H23年度実績より) ○執行額:24,798,000円 …① ○取扱件数:270,771件 …② ○単位あたりコスト:①/②=91.6円				
単位当たり コスト	91.6 (円/1件あたり)							
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	情報処理業務庁費	21	42	H25年度は、運用保守及びサーバ等更新時期にあたり、システム改修費用が発生するため				
	電子計算機借料	4	3					
計	25	45						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	全国の政令指定都市を中心に、流し営業が主となっているタクシー営業区域(タクシー業務適正化特別措置法に規定する「指定地域」)におけるタクシー運転者の登録を実施することにより、運転者の資質を確保し、タクシー輸送の安全及び利用者利便の増進を図ることを目的としている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	5年間の国庫債務負担行為として、平成20年度に競争入札を実施し、契約している。 また、平成23年度には、国土交通省行政事業レビューにおける「経費先減の観点から、より効率的な運用保守体制の構築に向けた見直しを図る」との指摘に基づき、国庫債務負担行為限度額の変更(削減)を実施した。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	「タクシー運転者登録制度ネットワークシステム」は、全国13ヶ所の指定地域における運転者登録(法人・個人)業務を中心に、運転者証の交付、記載内容の訂正、運転者業務経歴証明書の交付や運転者ごとの違反情報等について一元管理を行っている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	【前々回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 13指定地域からのシステム改修に係る要望については、必要性、緊急性の観点から精査を行い、必要最低限のものに限定して実施した。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	H25年度については、運用保守及びサーバ等更新時期にあたるが、システム改修に際し、新たな機能追加等については、コスト面に配慮し、真に必要な機能のみを追加すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	H25年度については、運用保守及びサーバ等更新時期にあたるが、システム改修に際し、新たな機能追加等については、コスト面に配慮し、対象地域の拡充を抑える等の真に必要な機能のみを追加することとし、必要最低限の概算要求額とした。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	308	平成23年行政事業レビュー	0285

※平成23年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A.富士通株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
保守料	ハードウェア・アプリケーション保守	20			
使用料	通信・プロバイダ提供	1			
計		21	計		0
B.東京センチュリーリース株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃リース料	ハードウェア リース	4			
計		4	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通株式会社	ネットワークシステムの保守	21		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京センチュリーリース株式会社	ハードウェア リース	4		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					